

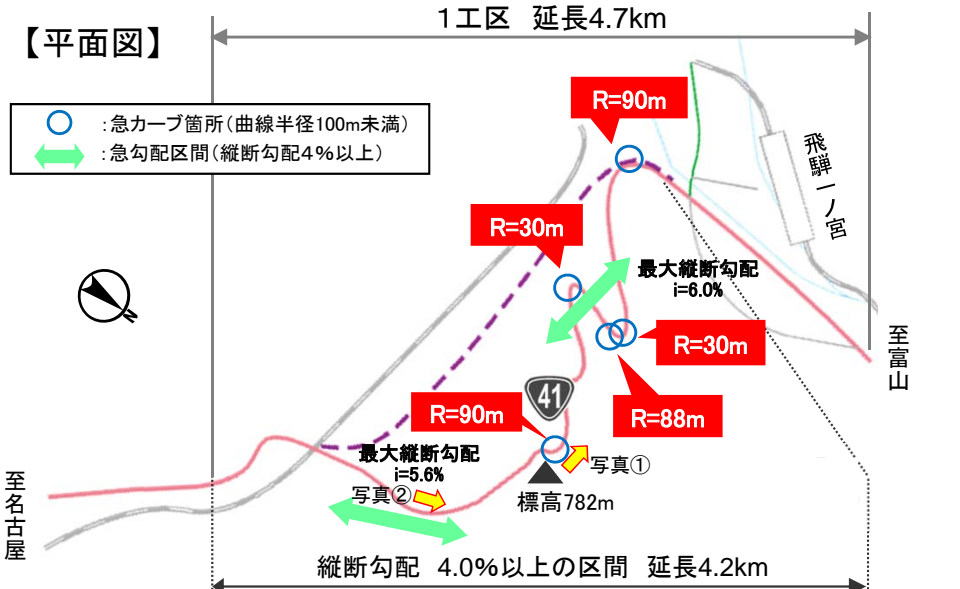
～期待される効果～

冬期交通の安全性・信頼性の向上

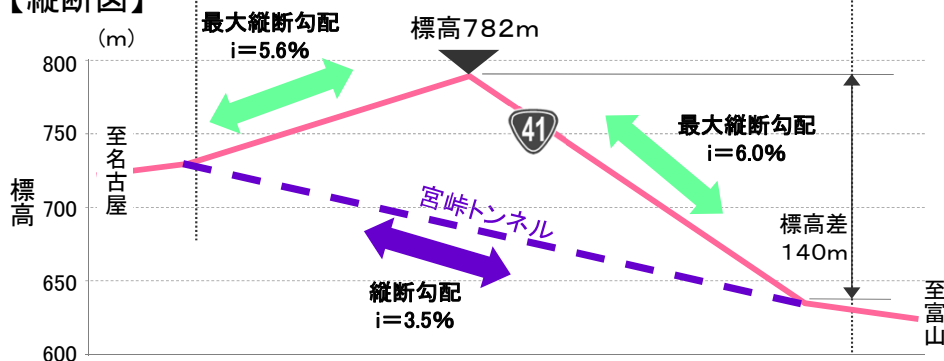
- 国道41号現道は、急カーブ、急勾配が多いため、積雪時には大型車がスタックする危険性が高い状況となっています。
- 石浦バイパスの整備により、厳しい道路線形を回避し、気象条件に左右されにくい信頼性の高い道路が確保されます。

〈宮峠区間における大型車の交通状況〉

【平面図】



【縦断図】



写真①：厳しい道路線形の状況



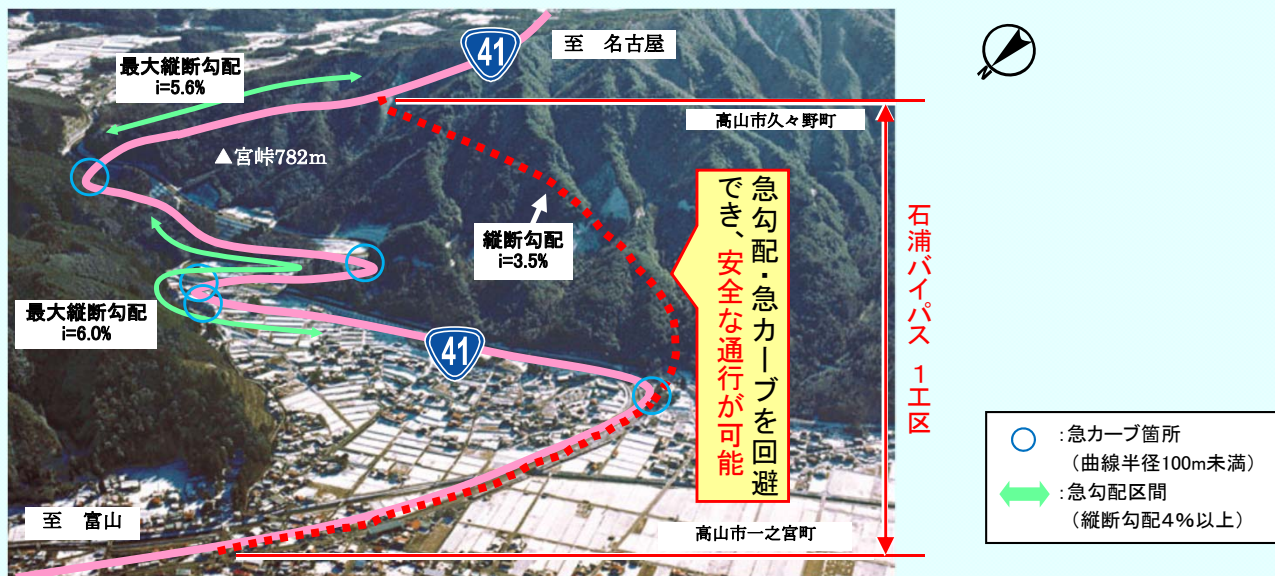
撮影：H27.6

写真②：大型車によるスタックの状況



撮影：H26.12

〈宮峠トンネルによる 急カーブ・急勾配区間の回避〉

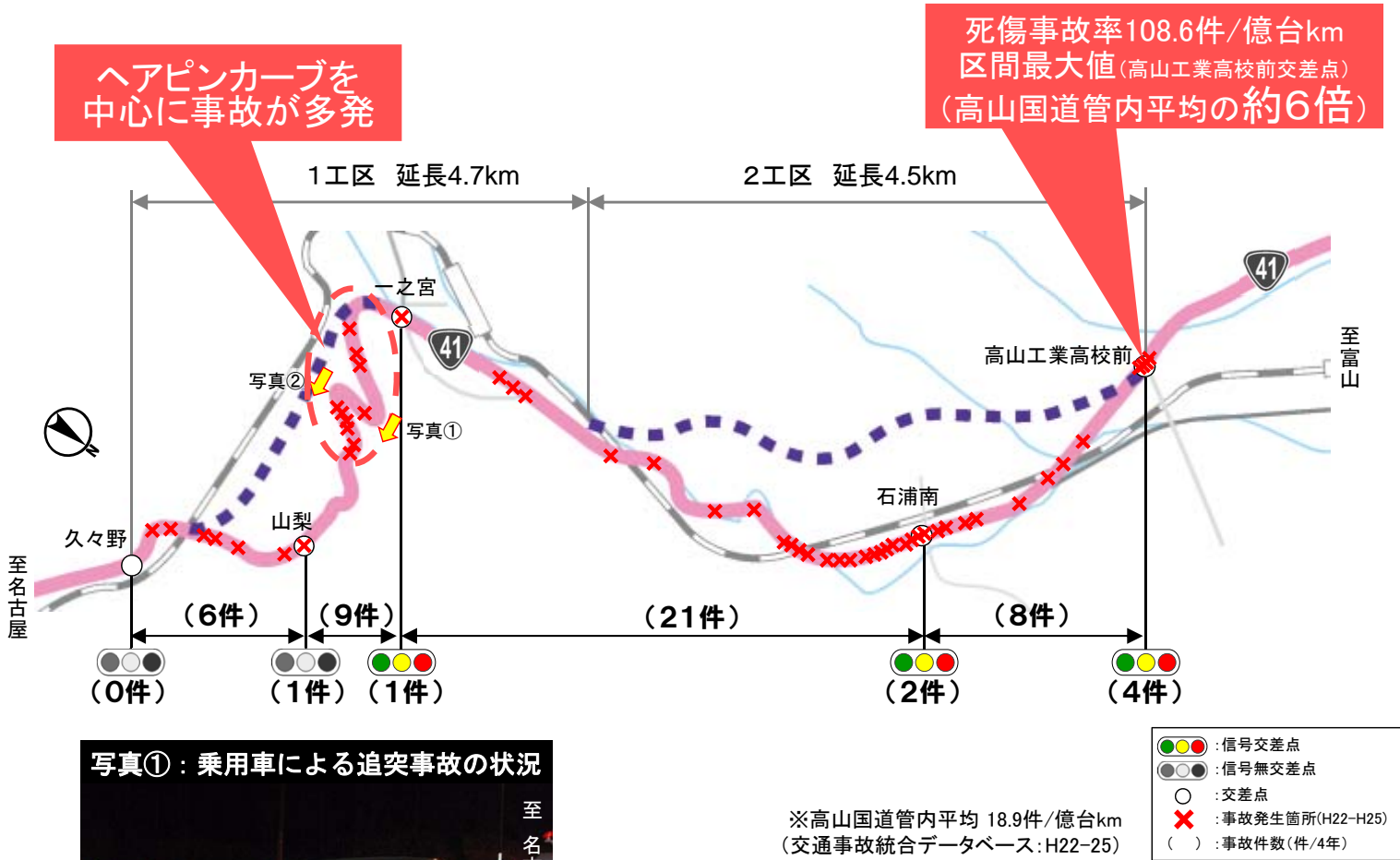


～期待される効果～

交通事故の削減

- 1工区は、急勾配・急カーブが連続しており、特にヘアピンカーブを中心に事故が多発しています。
- 2工区は、死傷事故率が高山国道管内平均の約6倍の区間が存在します。
- 石浦バイパスの整備により、厳しい道路線形区間等を回避することで、並行する国道41号の事故件数が軽減される見込みです。

〈石浦バイパスに並行する国道41号の事故発生状況〉



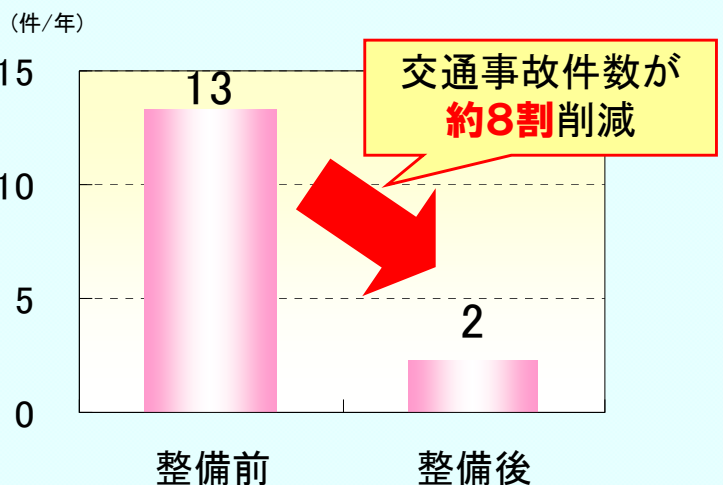
写真①：乗用車による追突事故の状況



写真②：大型車による横転事故の状況



〈石浦バイパスに並行する国道41号の交通事故件数の削減効果〉



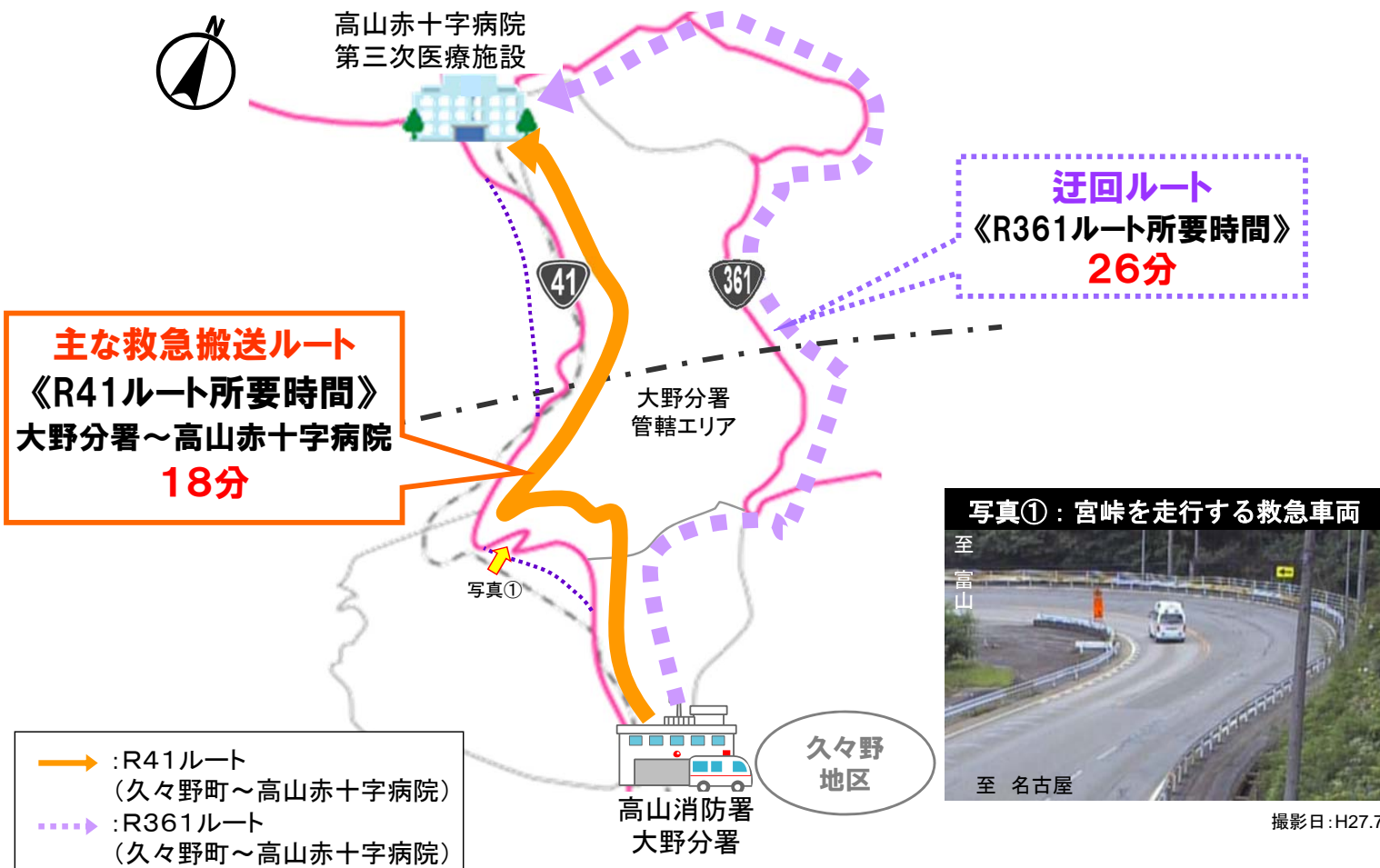
※整備前は現況値、整備後は推計値より算出

～期待される効果～

救急医療活動の支援

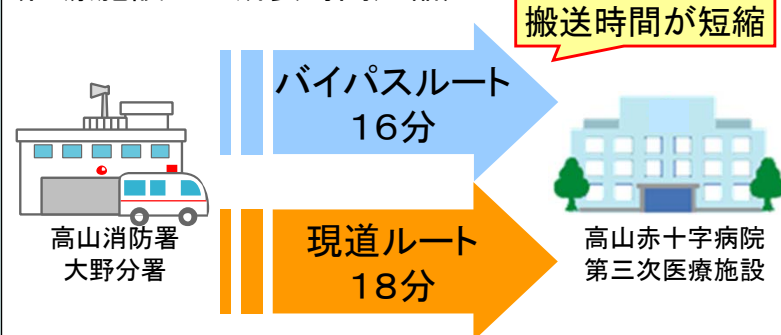
- 高山市内の救急搬送のうち大野分署～高山赤十字病院への搬送においては、国道41号が利用されていますが、国道41号が通行不能となった場合、迂回により約8分の遅れが発生します。
- 石浦バイパスの整備により、搬送時間が短縮し救命活動を支援します。また、走行性が安定し傷病者の負担軽減が期待されます。

〈大野分署～高山赤十字病院の救急搬送経路〉



※所要時間：民間プローブデータ(H26.10平日平均)より算出

〈医療施設への所要時間短縮〉



※所要時間：民間プローブデータ (H26.10平日平均)より算出
バイパスルートは、バイパス区間を設計速度(1工区：60km/h、2工区：80km/h)として算出



トンネルルート走行により、
傷病者への搬送時負担も軽減

【傷病者への負担軽減】

横加速度0.15Gを超える場合、救急搬送患者の容態に悪影響を及ぼす可能性がある。

出典：日本道路会議論文資料

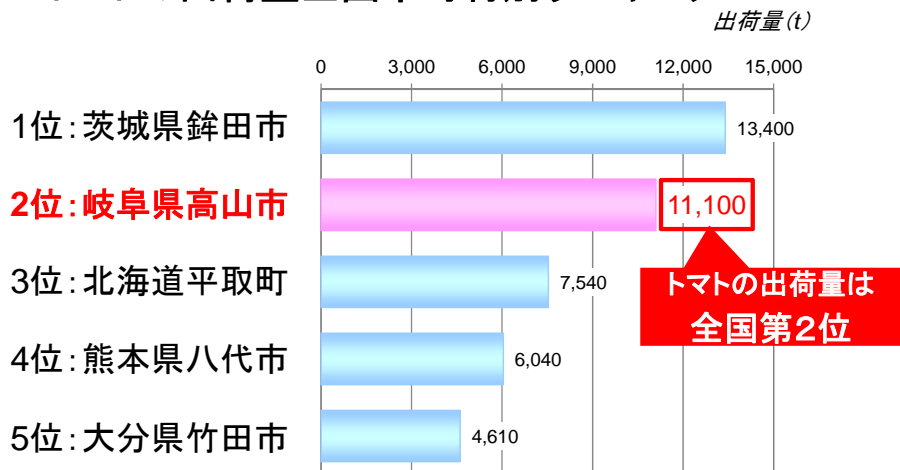
救急車GPS調査 H24.6実施

～期待される効果～

農業の支援

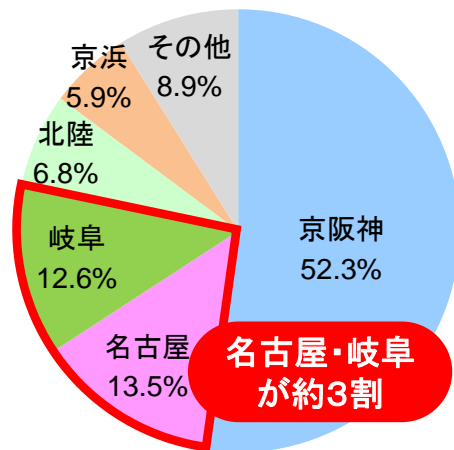
- 高山市は、高冷地の特性を活かした飛驒トマトの出荷が盛んです（トマトの全国市町村別出荷量第2位）。
- 出荷の3割は、国道41号を利用し名古屋や岐阜方面へ搬送していますが、道路の線形不良により荷傷みが発生し、品質低下が問題となっています。
- 石浦バイパスの整備により、高品質を維持してトマトを搬送することで商品価値を高め、地域産業の活性化を支援します。

■トマトの出荷量全国市町村別ランキング



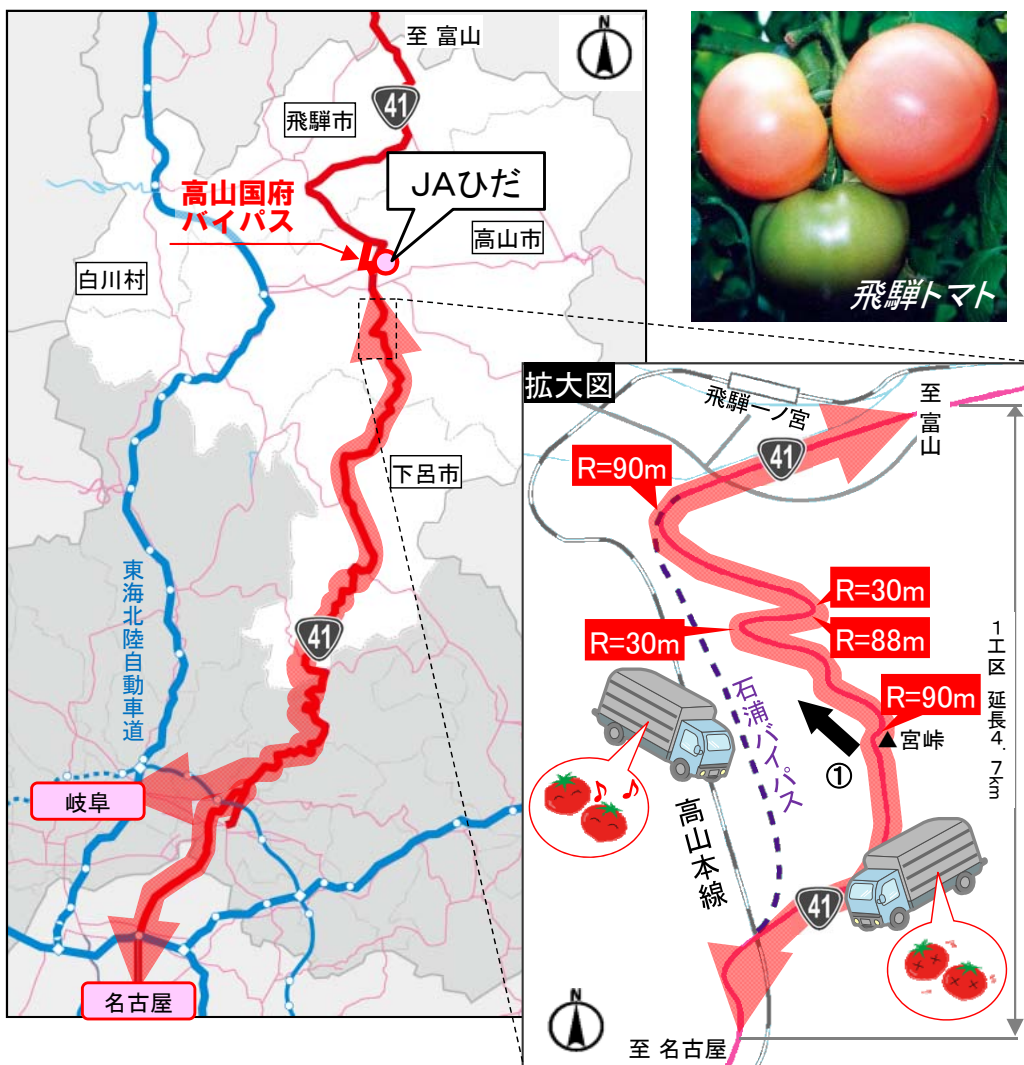
資料：平成25年野菜生産出荷統計（農林水産省） トマト(夏秋)

■飛驒トマトの方面別出荷割合(高山市)



資料：JAひだ資料

■トマトの輸送ルート



- ・名古屋や岐阜方面への出荷は、主に国道41号を利用します。
- ・トマトは痛みに弱いため、急カーブが連続する道路を通行することで傷がつきやすい野菜です。
- ・高山国府バイパス開通により、急カーブ区間を通行することが減りました。これにより、荷傷みが減りました。
- ・今後、石浦バイパスが開通することで、より荷傷みが少ないトマトを出荷できるようになります。



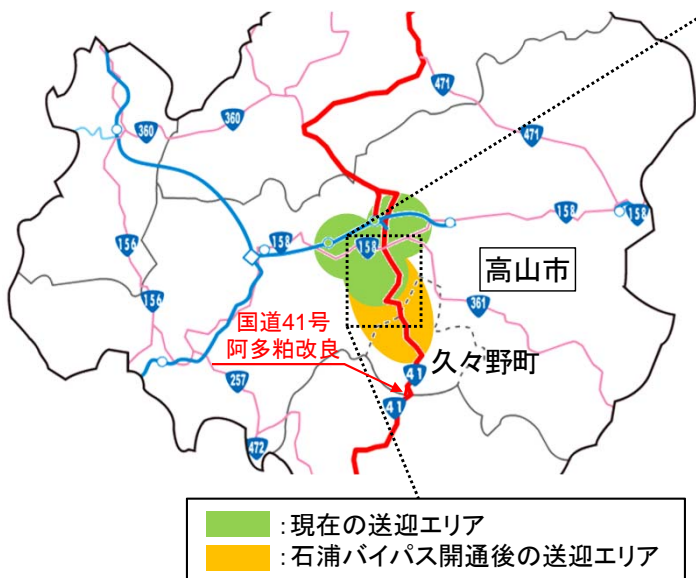
(JAひだ職員)

～期待される効果～

地域の福祉・介護の支援

- 国道41号の線形不良が送迎時における要介護者の負担となっており、介護サービスが行き届いていない要因の一つとなっています。
- 石浦バイパスの整備により、急カーブを回避し、送迎時の要介護者への負担が軽減し、送迎エリアの拡大も期待でき、地域の福祉・介護を支援します。

■ 国道41号を利用した通所介護(デイサービス)



- ・現在は、久々野町への送迎は、要介護者の負担を考えて行っていません。
- ・走行性のよい石浦バイパスを通行することで、送迎の安全性の確保や**要介護者への負担軽減**が期待されます。
- ・それにより、**市内中心部の介護施設への送迎**も考えられ、より良いサービスを受けられるようになります。



(高山市のデイサービス事業者A社)

■ 道路整備による改善イメージ(国道41号阿多粕改良の例)



国道41号現道の急カーブ区間

阿多粕改良の整備により
走行性が向上(トンネル区間)

阿多粕改良の整備では、**線形不良が改善し、救急搬送時の患者への負担が軽減**

- ・阿多粕改良の整備により、カーブがなくなり、搬送経路が直線に近くなったことで、**患者さんへの負担が軽減した**と感じています。



(下呂市消防本部)

○ : 曲線半径100m未満箇所

写真: (一財)高山市福祉サービス公社

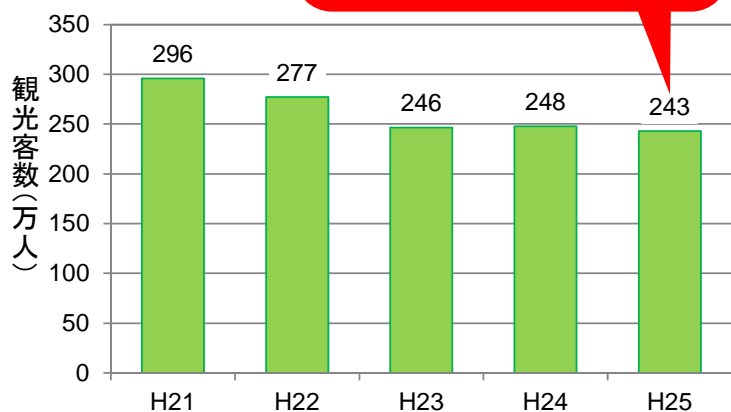
～期待される効果～

観光産業の支援

- 下呂市への来訪者の約3割（約75万人）が高山市から訪れています。
- 高山市と下呂市間では、国道41号を利用する特急バスが運行しており、石浦バイパスが整備されることで、高山市～下呂市間の周遊観光ルートの安全性、信頼性が向上し、観光産業の活性化を支援します。

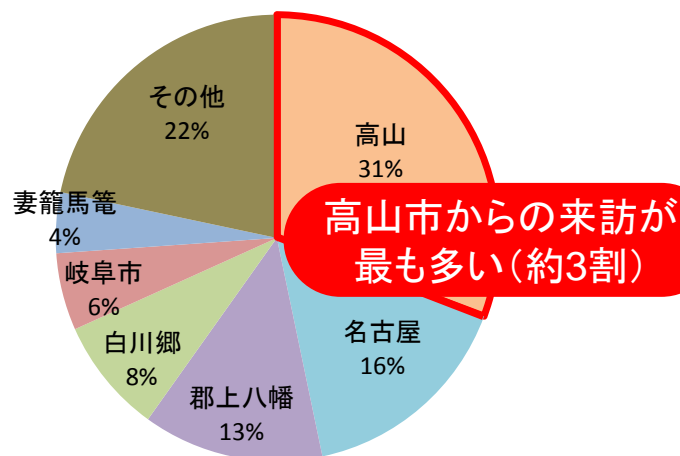
■下呂市の観光客数の推移

下呂市の観光客数は年間約240万人



資料: 岐阜県観光統計

■下呂市への来訪者割合



高山市からの来訪が最も多い(約3割)

資料: 下呂市来訪者調査(H26)
モニター数 n=2,454

■高山～下呂間の観光ルート



写真①: 宮崎を走行する特急バス



写真②: 冬期通行止に巻き込まれるバス(宮崎)

- ・石浦バイパスの整備により、時間短縮に加え、**走行の快適性の向上**による効果は、特に老年ドライバーにとって大きいと考えられます。
- ・**観光客の増加**に期待しています。



(観光協会)

- ・高山と下呂間では、国道41号を通行する特急バスが運行しており、観光客に多く利用されています。
- ・**宮崎は事故が多く、通行止**で通行できなくなることがあります。また、**冬期は凍結の危険性**が高く、運転手の負担が大きいです。
- ・石浦バイパスが整備されれば、**安全な運行**ができ、**地域の方や観光客の満足度の向上**にもつながると思います。



(バス事業者)